

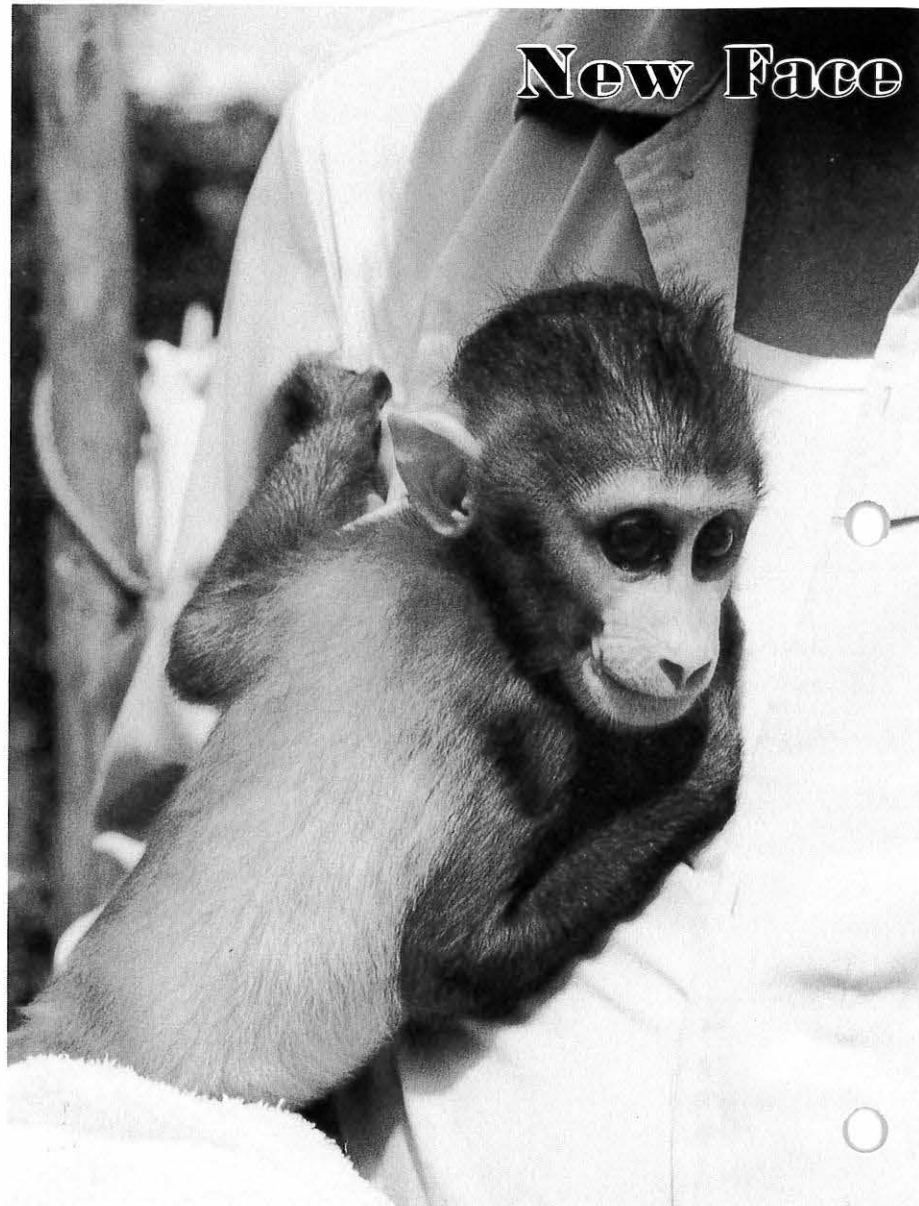


# なきごえ



1995

11



(撮影：宮下 実)

- 2 — New Face ドリルの赤ちゃん誕生(宮下 実)
- 3 — 動物と私 タガメを好きになって(橋爪秀博)  
カバーウォッチングアオハリトカゲ(長瀬健二郎)
- 4 — 動物園の利用法  
行動観察のフィールドとしての動物園(宮藤浩子)
- 6 — 動きだしたドリルの繁殖計画(宮下 実)
- 8 — グラフZOO (堀内智生)
- 10 — キーパーズアイ ダイエットあれこれ(早川 篤)
- 11 — ZOO DIARY

### カバーウォッチング

アオハリトカゲ

トカゲ目 イグアナ科

*Sceloporus cyanogenys*

北アメリカのテキサス南部からメキシコに分布し、砂礫地、岩石地帯、岩壁などに生息しています。

(撮影：長瀬健二郎)

## ||||| 動物と私 |||||

### タガメを好きになって

今年3月にオープンした天王寺動物園の爬虫類生態館では、生きたタガメを展示しています。私が勤務する小学校でも、タガメを飼育しています。タガメは亀とよく間違えられるのですが、つかむと臭いを出す昆虫、カメムシの仲間です。水生昆虫最大でドジョウやオタマジャクシ、カエルなどを鎌のような前足でとらえ食べる肉食性の昆虫です。今年は3回産卵し、約200匹の幼虫が誕生しました。タガメは成長がはやく、約1か月半で成虫になります。だから、えさをたくさん食べるので1匹ずつ分けて飼わないと共食いが起こります。20匹は学校で飼育し、20匹は近くの小学校へ譲りましたが、残りは共食いで死んでしまいました。私は以前タガメのえさを捻出するためにお酒を1年間我慢したことがあります。タガメを飼育するには、えさと場所が必要です。タガメが多く住んでいる場所は、タガメのえさも養える豊かな自然環境だと言えます。

ゲンゴロウと同じようにタガメはかつてはこの池や小川、水田にもいたそうです。戦後間もなく農薬が使われ始め、直接あるいは間接的(えさになる動物が死ぬ)に被害を受け数が減



橋爪 秀博 さん

(大阪市立長橋小学校教諭)

てしまいました。最近、人への影響が問題になり、農薬の量は少なくなりました。しかし、国の基盤整備事業でまた水生動物は住みにくくなっています。以前は、水田のどこかに水はけの悪い所があり、水生動物のオアシスになっていました。でも、整備された水田ではそんな場所はほとんどなくなってしまいました。また、「光害？」も頭の痛い問題です。川沿いや水田を横切る道路につけられた水銀灯の下には車にふみつぶされた昆虫の死体が散らばっています。戦後50年の間にタガメにとって住みにくい環境に変化してしまいました。

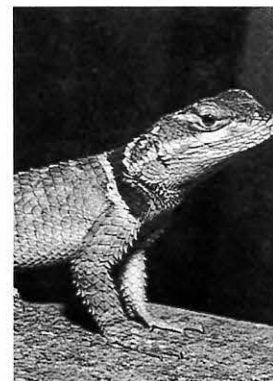
15年前、子どもたちからタガメの飼い方を教えてもらい、飼育・観察を続けてきました。オスとメスの出会いの工夫、産卵行動の不思議、子育てをするオス、大人になるための命がけのだつ皮など飼育・観察を通して、虫にも命があることを教えられました。タガメに魅せられ好きになった私は、タガメを絶滅の危機から救ってやりたいと考えるようになりました。そのためにはタガメのことを知ってもらうことが大切です。そこで、昨年は「タガメのすべて」(トンボ出版 Tel 06-768-2461)という写真を中心にした本を出版しました。今年は、読者から「タガメを飼ってみたい」という手紙をいただき、ふえた幼虫を譲り合う「タガメ飼育ネットワーク」を始めたいと考えています。タガメを身近に置いてやると「魚がかわいそう」から「おいしそうに食べている」というように、子どもたちはタガメの立場で食べることを考えることができるようになります。

ホタルが各地で復活しています。タガメのことをもっと多くの人々が知って好きになれば、再びタガメを人里に呼び戻し、「タガメの里」を復活させることはできると思うのです。

(はしづめ ひでひろ)

### ← ドリルの赤ちゃん誕生

7月29日、ドリルの赤ちゃん(オス)が生まれました。母親が育児を放棄したため人工哺育で育てていますが、誕生時の体重が2か月目には約1.5倍の1200gに増加し、順調な成育ぶりです。(9月28日撮影) [6,7ページに関連記事]



**動** 物園は生きた動物とのふれ合いを通して、娯楽、教育などいろいろな面で有用な施設ですが、研究の場としても大切な役割をになっています。

ここでは、動物園での観察の長所と短所をまとめ、私の関わるサルの研究などを紹介しながら、動物園での研究という問題について考えてみたいと思います。

**私** がサルの研究を始めたひと昔前も、動物園での行動観察は重要と考えられていましたが、あくまでも「野外研究の準備」としての意味合いが強いものでした。野外で自分が調べようとする動物がどんな行動レパートリーを持つのか、表情や音声なども含めて細かくチェックすることを目的に動物園で観察することが多かったのです。また、具体的な研究テーマを決める前にぼんやりとサルをみて何か発想を得る場としても動物園は意味のあるものでした。

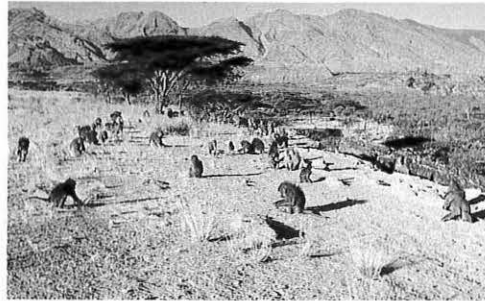
最近になって国内でもようやく、動物園での研究の重要性が強く認識されるようになりました。自然破壊がすすみ野外での研究がしにくくなったことが、その背景にあると思います。行動学に関していえば、研究のくみだて次第ではかなりの成果があげられるはずですが、その長所をあげてみましょう。

- 個体識別が簡単で観察しやすいこと。動物の表情、しぐさ、音声などの細かい行動観察ができて、性行動や出産・育児行動など野外ではなかなか観察できないような行動もよく観察できます。録音した音声を聞かせて反応をみるプレイバック実験や個体の入れ替えやグループ構成の変更などの実験を伴った観察もできます。データを効率よく集めることができるため、テーマによっては、野外では何カ月もかかって集めるデータを数日間ですべて得ることができます。

- 希少種を含む多くの種が観察できるので、さまざまな行動の系統比較ができます。

- 各種、各個体の日々の行動やつ

きあい方などを非常に細かく的確に見ている飼育担当者から貴重な情報を得ることができます。もちろん繁殖記録や血縁関係、移出入など動物園に蓄積されたデータは行動観察の結果を分析する時に欠かせないものです。



半砂漠に生息するマントヒヒ

しかし、動物園には次のような短所もあります。

- 生息環境が野生と大きく異なり、うっそうとした森にいる種も、半砂漠にいる種も、湿地にいる種も動物園では同じくケージや囲いの中にいます。このため、その活動も極端に限定されます。たとえば、野外でサルは一日の大半を移動しながらの採食ですが、動物園では餌の時間はごく短時間に限られているため、その他の時間はぼんやりしたり歩きまわったりしています。

- 観覧者からの影響が大きいこと。餌を与えたり、大声で呼んだりするマナーの悪い観覧者はもちろんですが、人の存在そのものが動物に影響を与えているかもしれないのです。

以上のような短所が、動物の行動の種類や発現頻度に大きな影響を与えるであろうことは容易に想像できます。

**そ** れでは、動物園でおこなった研究の実例を紹介しましょう。

動物園が誇る種の多さを利用し、系統関係をもとにした行動の種間比較をおこなう試みは有効です。幸田は10数種の霊長類の育児行動に着目していくつかのパターンに分類し、これらと幼児に特



一日の大半を木の上での採食ですごすサル

異的な体色や社会型(群れ型、ハレム型など)との関わりを解析しました。

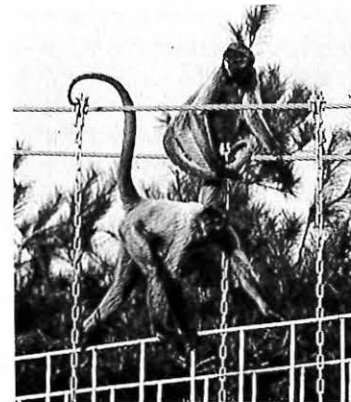
グループ全体がいつも見渡せて、個体識別も容易であることを利用して、いくつかのグループの社会関係を比較する試みもなされています。



手の平にのるぐらいのコモンマーモセット

実験によって、ある行動の意味を明らかにすることを目的にした研究もなされています。正高はジェフロイクモザルが音声をどの程度細かく聞き分けているのか(母子間でわかっているのか、自分たち以外の母子間での音声もわかるのか)、プレイバック実験により明らかにしました。同様に上野はオマキザルの尿によるにおいづけ行動が他個体にどのような情報を伝えているのか、においを導入したり除去したりする実験によって明らかにしようとした。

行動を細かく観察記録する研究には、行動発達などを扱ったものが多く認められます。広谷・吉村によるマーモセット類の育児分担行動の観察は、体長わずか数cmのマーモセットの赤ん坊(多くの場合、双生児)の行動発達と彼らをめぐる父母や姉妹の行動の細かい観察結果をグループの年齢構成や個体の履歴などとの関わりから解析しています。育児分担行動のきっかけが赤ん坊の側からの働きかけによるのか、育児する個体の自主性によるのかなどの解析には、赤ん坊の個体識別に基づく細かい行動観察が有効です。



ジェフロイクモザル

**こ** れらの研究を強くバックアップするのは動物園に蓄積された繁殖・生育・性周期などの貴重なデータです。研究のテーマが明確ならば、これらのデータを系統的に解析するだけでも重要な研究となるはずですが。

以上、駆け足でみてきましたが、あくまでも研究者としてどのように動物園を利用できるかということに重点を置いてきました。研究を遂行するためには、飼育担当者によく話し合って研究内容を十分に理解してもらうことが大切です。情報提供も含め、強力なバックアップが不可欠だからです。

**そ** れでは、動物園の側は研究者に何を期待するのでしょうか。動物園に在籍したことのある研究者として、そこでの行動観察の必要性について考えたいと思います。

動物園に籍中に私に持ちかけられた相談や実際に持ち上がった問題は多岐に及んでいました。

- ケージや放飼場への導入に関わること。新しく来園した個体、人工哺育を終えた個体をどのようなプロセスでグループに入れるか。
- 吐き戻し、糞食、子殺し、育児放棄、逃走、けんかなどの問題行動の原因究明と解決策。
- 性周期の把握、ペアリングのタイミングなど繁殖の推進に関わること。
- マーモセット類のカルシウム摂取とくる病との関わり、リーフィーター(コロブスやランゲールなど)の食葉の毒性、人工哺育個体の離乳など餌の問題について。
- 動物が本来持っている生活様式と展示方法との関わりについて。

どの問題も急を要しており、しかも回答するためには幅広い知識を必要とするものばかりで当時は大変苦労しました。文献などで簡単な回答をすることしかできなかったものも多いのですが、本来ならばそれぞれの視点から十分に行動観察をしなければならぬと思います。これらは飼育管理という意味から動物園にとって役立つ研究テーマですが、生物学的にも意味のあるものです。

研究者と動物園との相互理解が進めば、研究者は自分が研究をおこなうだけでなく、飼育担当者の研究をバックアップすることができるはずですが。

とにかく、動物園には重要な研究テーマが多くさん手つかずのまま残っています。このようなテーマに関心のある方、動物園での研究を始めてみませんか。

(くどう ひろこ)

# 動きだしたドリルの繁殖計画

— 飼育から繁殖にいたるまで —

ドリルという動物をご存じでしょうか。穴を開けるドリルではありませんし、国語や算数の練習問題として使ったドリルでもありません。英語の綴り drill は同じですが、今からお話するドリルとはサル仲間であるドリルのことなのです。



ドリルのオス“フレドゥル”

ドリルはオナガザル科のサルで、ヒヒの仲間とは近縁です。オスの顔は光沢のある漆黒で、顎の部分にピンク色のヒゲがあり、黒い顔を奇妙に引き立てています。もっぱら地上を歩き回り果実、木の実を主食に若芽や昆虫、カエル、トカゲなどを食べています。アフリカのナイジェリアとカメルーン北部に分布し、うっそうと繁る密林に生息しているため、野生での生態、行動については十分に分かりません。しかし現地では貴重な蛋白質源として食用にしていたためか、野生での生息数は1万頭以下、あるいはもっと少ないのではとされています。いくつかの保護区を設定し保護しているとはいうものの、いまや絶滅の危機に瀕する最たる動物の一つにあげられています。この危機を回避するためには、飼育下での繁殖に力を注がねばなりません。ところがこのサルの飼育されている頭数は世界で18箇所の動物園で65頭と少なく、日本では日本モンキーセンターの6頭と天王寺動物園の3頭のみというまったくお寒い数字です。世界での繁殖も年に2〜3頭と、とても軌道に乗っているとは言えない状況です。

一方、ドリルと同じように絶滅の危機にあるシシオザル、これはインド南西部に4千頭とされていますが、10年ほど前から飼育下での繁殖に努力が傾注され、飼育頭数は順調に増加しています。私はこのサルの日本での繁殖計画調整者を9年前から勤めており、近親繁殖を防ぎながらいかにして個体数を増やすかということに取り組んできました。10年前には世界の動物園で約3百頭だった

シシオザルが、毎年20〜30頭も生まれるおかげで、今や103の動物園で550頭も飼育されるほどに増加しました。日本でもこの間、17頭が40頭へと増えました。これには米国から日本の繁殖計画のために大きな支援を受けたことも大きな要因としてあげられます。ところでドリルは世界で65頭、これはシシオザルどころではなく、数字だけでいえばゴリラ飼育下では約7百頭—をも凌ぐほどの希少動物と言えるのではないのでしょうか。

1990年に米国のサンディエゴでシシオザルの国際シンポジウムが開かれ、国際繁殖協力について討議されました。私も日本の現況を訴え日本の繁殖計画に支援を求めた思い出深い会議なのですが、実はその時の会議の合間の見学ツアーでサンディエゴ野生動物園の希少動物繁殖センターを見る機会に恵まれました。カリフォルニアコンドル、キングチーターなど絶滅の崖っぷちに立たされている動物をここで繁殖させているのです。もちろんお目当てのシシオザルも直径50mほどの広い円形の放飼場の中で飼育されていました。ふと隣を見るとまったく同じ大きさの放飼場があるのでたずねると、これがドリルとのことでした。シシオザルなみの繁殖施設がなぜドリルに与えられているのか、当時の私には理解できませんでした。明けても暮れてもシシオザルのことばかり考えていた私には、ドリルの希少性が目撃できなかったのです。ドリルがいかに貴重で、飼育下でもなかなか繁殖しないという案内の係員の話聞きながら、一昨年(1988)、ドリルの国際血統登録担当者であるドイツのペーア博士から天王寺の1ペアをヨーロッパの動物園に提供しなさいという勧告に近い手紙を受けた時のことを思い出しました。

当時、当園のドリルのオス“ジャック”とメスの“アン”は9年間も連れ添っているのに子供に恵まれないのは問題であり、ヨーロッパでのドリル繁殖計画に組み入れたいというのがペーア博士の要望でした。ドリルのオスはどのようなか大人になるとメスに興味を示さず交尾をしないものが多いため、繁殖経験のあるオスは非常に貴重でした。また個体数が少ないことから子孫を作っていないオスの遺伝子を残すことも重要な課題でした。これらのことから強く要望してきたのですが、当園ではオスを入れ替えてでも繁殖を図るつもりであると、この申し出を拒絶しました。

ところが1989年にジャックが肺炎で死亡したた

め、早急にオスの入手を図らなければならなくなりました。90年当時、国内の4動物園で10頭が飼育されていましたが、当園のアンと血縁関係のないオスは枚方パークで飼育されているオスだけで、体重50kgはあろうかというこの立派なオスをぜひとも婿にと交渉を進めましたが希望はかないませんでした。国内には浜松に1頭、日本モンキーセンターに2頭、それぞれオスがいたのですが、すべてアンとは血縁関係にあり、国内での入手は断念せざるを得なくなりました。

この現状をペーア博士に連絡し、日本でのドリルの繁殖を絶やさないためになんとかヨーロッパからオスを天王寺に提供してもらえないかとお願いしたのは90年のことでした。博士の最初の提案を蹴っておいて反対にこちらが欲しいというあまりにも虫の良すぎる依頼でしたが、彼はこの申し出を快諾してくれました。

91年7月、ドイツのウィルヘルム動物園より5歳のオス“フレドゥル”が来園しました。ブリーディングローン\*として借り受けたもので、国内での動物の貸借は数多く経験しているものの、国際的な貸借は当園としては初めてのことでした。当時アンは13歳、姉さん女房になるわけですが、現実にはフレドゥルを恐るかアンは近寄ろうとはせず、フレドゥルの方はアンよりも隣室のマンドリルのメスにもっぱら関心を示していました。

2年半が経ちました。2頭のあいだには夫婦関係は見られず、距離があいたままでした。フレドゥルの関心をマンドリルからドリルに向けさせるには、魅力的なメスをもう1頭導入してはと考えました。ちょうど、日本モンキーセンターにはアンの妹でアリスという9歳になるメスがおり、しかも2回の出産経験を有する個体でした。ただアリスの夫君は異母兄妹にあたるため、これ以上の近親繁殖を防ぐことから同センターはアリスを天王寺へ貸し出すことに同意してくれました。

お膳立ては整いました。94年1月、アリスは天王寺に嫁いできました。1週間の見合いの後、3頭は同居しました。最初はアリスに興味を示したもののフレドゥルは隣室のマンドリルのメスを見つづける毎日。業を煮やして2月の中旬、ドリルとマンドリルの境にアルミ板を取り付け、フレドゥルが簡単に隣室を覗けないようにしました。これで駄目なら人工授精に本格的に乗り出さねばと、私自身、まさにこのアルミ板にすがる思いでした。効果てきめんとはこのことを言うのでしょうか。4日後、フレドゥルはアリスと交尾をしました。続いてその2日後にはアンとも交尾してくれたのです。担当者から交尾確認の報告をもらった時、日本の繁殖計画のためにオスを斡旋してくれたペーア博士、貸し出してくれたウィルヘルム動物園、メスを貸し出してくれた日本モンキーセンターへは感謝の念で一杯でした。6か月すれば赤ちゃんが見られるぞ、という期待とともに。

『好事、魔多し』とはこのことでしょうか。1か月後、アリスは突然亡くなりました。水飲み場に

顔を突っ込んで・・溺死でした。何故なのか、解剖しても原因は解明できませんでした。その日、モンキーセンターへ連絡を入れた時の無念さと申し訳のなき、なにしろ日本でも数少ないドリルを1頭、減らしてしまったのですから。

その年の10月、アンは出産しました。妊娠の可能性が高いためオスを隔離し準備を整えていたのですが、アンは初めてのお産で気が動転していたのでしょうか、我が子を水飲み場に突っ込んだり、天井にぶらさがったまま子供を落としたりするため、我々が必死の思いで子供を取り上げた時には、当園の初誕生のドリルは死亡していました。ネバーギブアップと思っても、天王寺でのドリルの繁殖はもう駄目なのはと気落ちしました。

しかし、亡くなったアリスの功績は立派に生きていました。アンの発情期にはフレドゥルは交尾することができるようになったのです。今年のはじめに交尾が確認され、初夏を迎えるころからアンの腹部が日ごとに膨らみ、出産の準備を始めようかと考えていた矢先の7月29日、アンは2回目の出産をしました。前回のように取り乱しはしませんでした。赤ちゃんをしっかりと抱けずには放り出したため、すぐさま人工哺育をすることにしました。

## 〔哺育メモ〕

赤ちゃんは体温が下がっていて心配させられましたが、動物病院での手当のおかげで、翌日から飼育担当者の世話でミルクを飲みはじめました。誕生時の体重：780g、性別：オス、愛称：ドリー、ドリーの人工哺育については



人工哺育で育つ“ドリー”

は来年の本誌『なきごえ』でご紹介する予定です。

このドリーの誕生についてはすぐにペーア博士とウィルヘルム動物園に報告しました。うれしいことにドリーは当園の所有ということでウィルヘルムも承諾してくれましたので、これからの繁殖計画に一層本腰を入れねばなりません。現在、国内のドリルはすべてドリーとは血縁関係があるため、ヨーロッパあるいは米国からドリーの花嫁を借り受けたいと思っています。七転び八起き、ドリルの繁殖計画が動きはじめたようです。

(飼育課：宮下 実)

\*希少動物の繁殖を目的として動物を貸し借りすること



# EVENT WATCHING

記念式典 '95 sep 9/9

開園80周年記念イベント・ウォッチング



柳生さんと露那ちゃんがスライドをしながら絶滅の危機に瀕する動物をテーマに話を進め、その話の中で出てくる様々な疑問について、飼育担当者と話をする「動物教室」の様子です。



天王寺動物園80年の歴史写真展と、日本と世界の動物園のポスターやグッズの紹介をレクチャールームにおいて行いました。

9/9-10/10

またオーストラリアのメルボルン動物園からやってきたコアラの愛称募集をしました。(9月中)



愛称はオスは「ボルン」メスは「リア」に決まりました。

式典は大阪国際交流センターで開催され、1日園長として俳優の柳生博さんと、子役タレントの大家露那ちゃんをお迎えしました。

## グラフZOO

天王寺動物園は今年で80周年を迎え、いろいろなイベントを行いました。その一部をご紹介します。

### 1995.秋



記念式典 '95 sep 6/6

8 爬虫類館「アイファー」では、ボールパイソンという蛇を触りました。

9/9 → '95 autumn 12/28



こちらは天王寺公園内にある映像館。「天王寺動物園80年の歩み」を上映しています。

動物にちなんだ狂言を上演しました。

9/17 '95 sep



このほかに人形劇、記念動物映画まつりなどを10月10日まで行いました。

# キーパーズ アイ

## ダイエットあれこれ

私のまわりでも、太り過ぎたからとか、もっと細くなりたいからダイエットしなくてはと言う人が、けっこういます。まあ、こう口に出して言うくらいの方は、まだまだ初期段階のいわば修復可能な状態の人や最近すこしハラが出てきた私に対してのつら当てかいなと思えるくらい細かい人だったりすることが多いですね。ちょっとは考えた方がいいのではと思える人に限って、チョコレートなんかバクバク食って、なーんにも気にしてなかったりするもんです。

ところで、動物たちはどうかと言いますと、「最近ちょっと太ってきたかいな。」と言って、人間様のように風呂上がり鏡を見て気にする象とか、まわりの仲間はお客さんにお菓子などをもらっているのに、ダイエット中だから、糖分の多いものは控えようと、目の前に投げ込まれたキャラメルも食べずにじっと我慢している日本ザルなど、どこを探してもいるはずはありません。

**野**生動物にとって、太るということは、来たるべき寒さや食物が少なくなる季節に備えてエネルギーを脂肪に替えて蓄えるということであって、人間のいう意味での太るとは少し意味が違います。生きるために太ることが重要なのです。食べられる時に食べられるだけ食べる。彼らの自然下での生活の大半が食べるために使われます。その運動量も相当なものでしょう。ところが飼育下では、その運動量はとてま少なくなります。ですから栄養価の高い食べ物をいっぱい食べさせると、動物たちはすぐに太ってしまいます。動物の健康のためにダイエットについて考えるのも私の仕事のひとつなのです。

**園**内で保護されたフェレットが、やって来ました。おそらくペットとして誰かに飼われていたのでしょうか。人によく慣れて、これでもかという程ロコロと太っていました。まあ、この動物などはエサを少なくして、運動をさせることでスマートになっていきました。人間の場合もそうだと思いますが、食べなければ良いというものではありません。動くということも大切なことなのです。また、最近はペットフードでも話題になっているナチュラルフード(自然食)に見られるように、食べ物の質やカロリーなども考えてみなければなりません。

高タンパク、高脂肪のものを与え続けることにより体調をくずすことは十分考えられます。運動させるといっても、相手があまり動きたがらなければいけないものではありません。ハリモグラのオスも、ちょっと太り気味なのですが、そんなに動きまわりません。そこで従来は馬肉ミンチに牛乳とコンデンスミルクを加えていたのですが、馬肉と脱脂粉乳に代えることにしました。

ダイエット前



ダイエット後



どうぶつの場合、ダイエットしても外見はあまりかわらぬ時が多いです。

二のように、食べ物や生活空間を工夫することでダイエットさせられる場合はまだ良いのですが、そう上手くいかない場合もあります。当園には4頭のタヌキがいますが、このうち3頭は兄弟で、しかも子供の頃から育てていますから、担当者にもよく慣れています。もう1頭は、大きくなってから保護された個体ですから、いつも部屋の隅っこでじっと隠れるようにしています。同居している3頭とも仲が悪いわけではないのですが、時々一緒に遊んだりしません。でも食事の時は仲良く4頭で並んで食べています。背に腹はかえられぬといったところなのか、食事時だけは私が近くにいても逃げずにいます。でも食べ終わるとすぐに逃げるようにして木の上に登ってじっとしています。他の3頭はウロウロ歩いたり、ケンカをしたりして動きまわっています。この両者の運動量の違いは相当なもので、同じ部屋にいて同じものを食べているのに、体型が全く違ってきてしまいました。これではイカンと全体の食事を減らすことにしました。これはじっとしているタヌキのための食事です。でもこれだけでは動くタヌキにとっては少ないですから、3頭は別々に与えることにしました。幸いにして3頭はもと人慣れしていますから、直接エサを口に入れることができます。で、隅っこでじっとしているタヌキは何で私だけくれへんのっていう感じで、ますます暗くなっていくようなのです。ダイエットって、してる本人もつらいけれど、させる側もつらいもんですね。

(早川 篤)

9/1. 今年の7月にふ化したアカダイショウにダニが寄生していたので治療を始めました。

9月4日

ダマジカのオスの角の一部を切り取りました。



これは発情期を迎えて興奮したオスからメスや飼育担当者を守るためです。

9/7. ホオジロカンムリヅルが産卵しました。

9月9日

天王寺動物園開園80周年記念式典を大阪国際交流センターで開催しました。俳優の柳生博さんと大塚露那さんに一日園長としてイベントに参加していただきました。



フサオマキザルの赤ちゃんが生まれました。

9/11. 人工哺育しているパタスザルの赤ちゃんが下痢をしたので治療を始めました。

9/13. オウサマペンギンが産卵しました。

9月15日

敬老の日になみなみ、当園で最長飼育動物であるアジアゾウの“春子”にリンゴなどをプレゼントしました。“春子”は1950年来園し、現在推定年齢は46歳です。



9/16. エランドのメスが1頭生まれました。

9月17日

天王寺動物園開園80周年記念イベントの一環として和歌山親愛女子短大の仲谷理博氏をお招きし、「身近な里山に住むイノシシ」と題して講演会を開催しました。



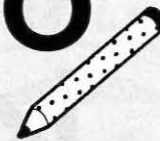
ゴイサギとドバトを各1羽保護しました。

9/18. アオハリトカゲ4頭を京都市動物園に贈りました。

9/20. アカショウビンとトビ各1羽、ドバト2羽を保護しました。

今月もおもしろ情報満載

# ZOO DIARY



動物愛護週間にちなんで、園内に動物無料相談コーナーを5日間設けました。開業獣医師と当園の獣医師によってペットや野生動物に関する質問にお答えしました。

9/22. ワシントン条約違反でアオメキバタンを5羽緊急保護しました。

9月23日 毎年恒例の動物総合感謝祭を開催しました。今回の動物代表は今年5月に生まれた雌のパタスザルの“パール”ちゃん、緊張した表情で玉串をささげました。



9/24. 開園80周年記念イベントの一環として「こども動物フェスティバル」を開催しました。

9/26. 今年の7月に保護したゴイサギと8月に保護したヒヨドリが元気になったので放鳥しました。

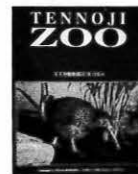
ユリカモメを1羽保護しました。

9/28. キジバト2羽とドバト1羽を保護しました。

9/30. 今年ふ化したキジ類のヒナが寄生虫を持っていたので治療を始めました。

### お知らせ

- 動物園のおじさんのお話「コアラのお話」日時：11月19日(日)午後1時から 場所：レクチャールーム
- 動物園の売店で販売しています。「わたしたち地球家族」一てんのうじどうぶつえん百話— ¥1,300.
- 「TENNOJI ZOO」(80周年記念写真集) 一天王寺動物園80年の歩み— ¥2,000.



愛ある暮らし、応援します。

# Kintetsu

近鉄百貨店

DEAR LIFE BOOKS



## 生態・飼育・図鑑が一つの本の 中にギッシリ

中川道朗・岩合徳光/監修  
B5変型判・オールカラー  
定価680円

動物園で暮らす様々な生き物達、  
自然の中ではどんな暮らしをして  
いるのか？ 動物園での世話  
の仕方は？ 仲間とは？ など、  
写真と精密イラストをまじえ紹  
介します。

くらしかいかたシリーズ<既刊本>  
B5変型判・オールカラー・各定価680円

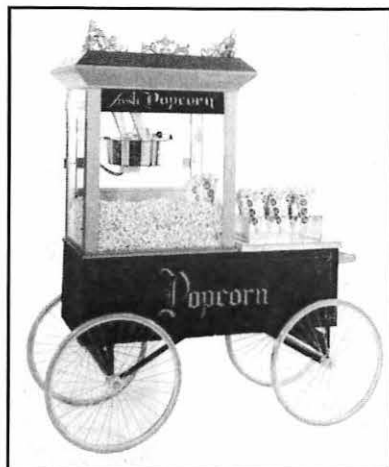
### むし くらしかいかた

野山でみかける身近な昆虫たち  
250種を紹介。

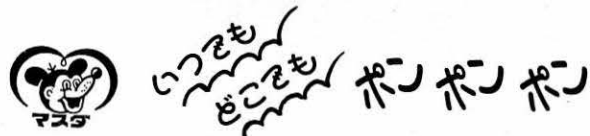
### ちいさないきもの くらしかいかた

昆虫以外の小さな生き物を320  
種紹介。

お求めは、お近くの書店で。 ひかりのくに株式会社 本社/〒543 大阪市天王寺区上本町3-2 ☎06-768-1151代表



## マスターのポップコーン



〈営業品目〉 製造機械・保温機 他  
生コーン・袋詰ポップコーン・原材料一式

(株)増田食品 〒561 大阪府豊中市穂積1-10-30  
TEL (06) 865-0165

新・きれいな色

# FUJICOLOR SUPER G ACE 400

新・きれいな色



カラの大林

桜橋本店 ☎341-8091  
阪急三番街店 ☎372-5031

動物の生態を描く唯一の文学雑誌

## 動物文学

昭和九年平岩米吉によって創刊

本誌は生態研究を基礎として動物文献を収集整理する  
とともに、シートン、ザルテン、バイコフ等の諸作家  
を紹介した本邦動物文学の母胎です。

〈研究・考証・記録・随筆・翻訳等を掲載〉  
会費/年1,500円(切手72円・呈既刊号目次)

## 動物文学会

〒152 東京都目黒区自由が丘3-12-2 電話03(3717)1659・振替・東京5-9800

新作

貸出用ビデオ「楽しい天王寺動物園」  
19分(10本常備)

- 対象/保育園・幼稚園・小学校の先生
- 貸出期間/10日間
- 貸出料/無料(但し郵送料510円は必要)
- 申込先/当協会まで手紙かハガキでお申込下さい。

コアラテレホンカード(限定販売)  
好評発売中 ¥800(50度用)

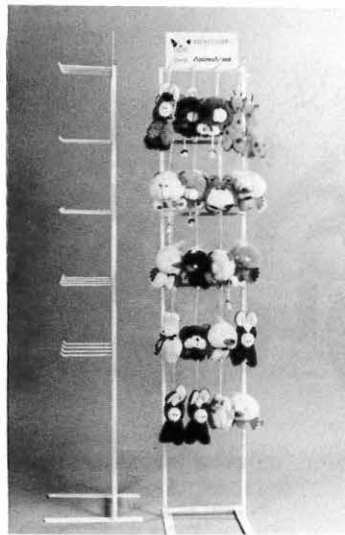
## 天王寺動物園の本

入園の記念・手引に……



オールカラー  
500円 園内売店にあります。

大阪市天王寺動物園協会 〒543 大阪市天王寺区茶臼山町6-74 ☎(06)771-0201

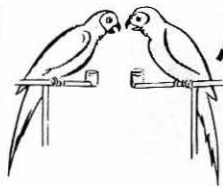


# 動物ぬいぐるみは 子供のゆかいなお友達

各種ぬいぐるみ企画・製造・卸

有限会社 **アニメランド**

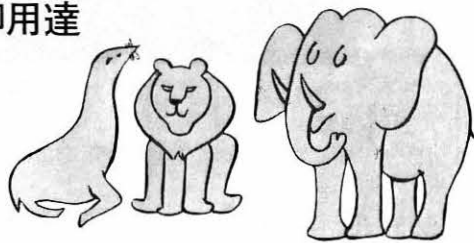
〒547 大阪市平野区西脇4丁目5番22号  
TEL: (06)704-8580  
FAX: (06)704-8565



## 鳥獣輸入

全国動物園水族館御用達

- ・医学実験用動物
- ・宣伝用、テレビ用、貸動物
- ・原色世界雑類図鑑(34種1枚もの)要郵便券250円

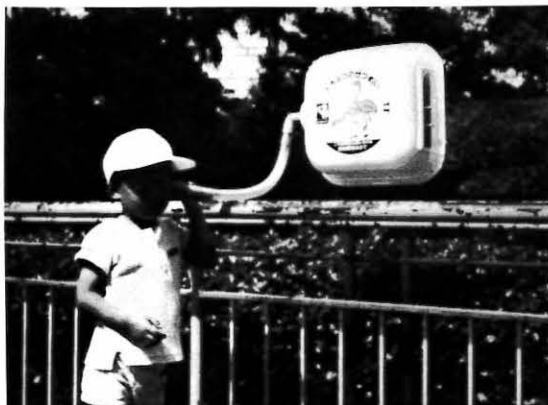


## 有限会社 吉川商会

本社 神戸市中央区中山手通3丁目11番4号  
飼育場 兵庫県小野市来住町1513番地

電話(078)221-8195(代)

## たのしい動物のお話は、 ガイドマシン(動物説明機)で、どうぞ!!



園内、主要動物舎  
30数カ所にあります

関西特機株式会社  
電話 06-762-2333  
1回 20円

動物園内での  
お食事、  
ご休憩は



動物園内.....

## 中央売店

TEL 06-771-0973

お食事・飲み物・おみやげ 動物園内  
南園売店 TEL 06-771-7110



## LOTTE



サクッとスリムなプレッツェルを、  
こんがり焼き上げたあとに  
チョコをたっぷり入れました。  
「トッポ」のおいしさの人気は、  
ここがポイントです。





# 雪印 つぶよみ フルーツ ヨーグルト



●ライチミックス ●ストロベリー ●アップル ●ピーチ ●フルーツミックス

おいしさは、産地のよさです。

台湾のライチ、フィリピンのナタ・デ・ココノバナナップル ●ライチミックス  
 国産の女峰、オレゴンのトーテム、中南米のチャンドラー、季節の旬を追って ●ストロベリー  
 日本の富士、中国・韓国の国光。それぞれおいしい季節の ●アップル  
 桃といえば中国です。そして韓国。旬に一括収穫した白桃で ●ピーチ  
 アプリコット、メロン、アップル、バナナップル、ミカン。果物狂の ●フルーツミックス

お待たせ  
新発売

希望小売価格・税抜 **各100円**



◎園内3ヶ所(南園高架下・北園中央デッキ北側・北園高架下)に各種のりもの、があります。

**久竹娛樂株式会社**  
TEL(06)541-3938(代)



一日  
愉快地  
たのしめる

なきごえ 1995年11月10日発行(毎月10日発行) 第31巻 第11号 (通巻363号)

編集/大阪市天王寺動物園事務所

発行人/大阪市天王寺動物園協会 伊東重朗

印刷所/株式会社 松村善進堂 定価150円(送料共) 1年継続(12部) 1,650円(送料共)

〒543 大阪市天王寺区茶臼山町6-74

電話 大阪 (06) 771-0201

振替口座 00930-2-37823

編集委員

樽本 勲/馬詰好文/増野悦敏/中川哲男/吉本昌俊/長谷川敏昭/落合正彦/宮下  
高橋雅之/中上正幸/堀内智生/小林崇宏/竹田正人/大野尊信/野口秀高/早川

実/長瀬健二郎/神原安昭/森本委利  
篤/土谷正道/村上勇一/仁田原洋